ターペン可溶1液速乾変性エポキシ系さび止め塗料

ホルムアルデヒド放散等級
F☆☆☆☆

# ニッペ 1液ハイポンファインデクロ®

*さびに強く、乾きの速い1液変性エポキシ塗料です*

JPMS 28
一液形変性エポキシ樹脂さび止めペイント
適合品



写真はイメージであり、製品とは無関係です。

NIPPON PAINT

2液変性エポキシ樹脂塗料と同等の防錆力を持ち、素速い乾燥性のターペン可溶1液さび止め塗料

# 「1液ハイポンファインデクロ」

JPMS 28　一液形変性エポキシ樹脂さび止めペイント 適合品
(JASS 18 M-109　性能相当)

## 7つの特長

**1 使い易いターペン可溶タイプです**
塗料用シンナーAで希釈できます。

**2 便利な1液タイプです**
硬化剤の不要な1液タイプですのでポットライフがなく、塗料をムダにしません。

**3 手離れの良い速乾タイプです**
手離れの良い速乾タイプなので工期を短縮できます。

**4 幅広い下地に適性があります**
劣化溶融亜鉛めっきを含む広範囲な下地に適用できます。

**5 安心の高防錆力です**
2液変性エポキシさび止め塗料同等の防錆力があります。

**6 環境配慮形です**
鉛を配合しない環境にやさしいさび止め塗料です。

**7 高作業性です**
はけ、ローラー塗りが良好です。

16kg缶




4kg缶




＊地域や色相により缶意匠が異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

## 性能比較表

| 性能項目 | 1液ハイポン ファインデクロ | 2液変性 エポキシ塗料 | JIS K 5674 1種品 |
|---|---|---|---|
| 塗装作業性 | ◎ | ○ | ◎ |
| 防錆力 | ◎ | ◎ | ○ |
| 劣化溶融亜鉛 めっきへの付着性 | ○ | ○ | × |
| 塗り重ね時間(23℃) | 4時間 | 16時間 | 16時間 |
| ポットライフ(23℃) | ありません | 5時間 | ありません |
| 使用シンナー | 塗料用 シンナーA | エポキシ シンナー | 塗料用 シンナーA |

※社内データによる

## 素地の適用性

| 素　地 | 適応性 | 備　考 |
|---|---|---|
| 鉄 | ○ | |
| ステンレス(SUS304) | ○ | |
| 劣化溶融亜鉛めっき | ○※1 | 白さび除去必須 |
| 電気亜鉛めっき | ○ | ボンデライト |
| アルミニウム | ○ | A1050Pなど |
| アルミニウム(表面処理版) | ○※2 | アルミアルマイトなど |
| FRP板 | ○ | |
| 塩ビゾル鋼板 | × | |

※1　6ヶ月以上暴露された面に使用してください。それでもキラキラしている箇所はペーパー研磨が必要です。
※2　アルミニウムの表面処理種、塗装種によっては、入念な研磨を行なっても付着しない場合があります。
　　必ず試験施工(入念な研磨を伴う)により付着性を確認してください。
注)　上記以外の素地との付着性につきましては、最寄りの営業所までお問い合わせください。

## 旧塗膜との適用性

| 塗料系統 | 適応性 | 弊社商品名 |
|---|---|---|
| フタル酸樹脂塗料 | ○ | ハイシルクフォースター／ CRペイント上塗エコ |
| ポリウレタン樹脂塗料 | ○ | ハイポン50上塗 |
| 塩化ゴム系樹脂塗料 | ○ | ハイラバーEスーパー上塗(新)N※ |
| アクリル樹脂塗料 | ○ | ケンエースG-Ⅱ／ ニッペアクリル |
| エポキシ樹脂塗料 | ○ | ハイポン40上塗 |
| ターペン可溶 ウレタン樹脂塗料 | ○ | 1液ファインウレタンU100／ ファインウレタンU100 |
| 合成樹脂調合ペイント | ○ | Hi-CRデラックスエコⅡ |

※ ハイラバーEスーパー上塗(新)Nは、現在廃止品になります。

## 上塗り適用性

| | 塗料系統 | 適応性 | 弊社商品名 (上塗り塗料) |
|---|---|---|---|
| 弱溶剤系 | ターペン可溶 1液形ウレタン樹脂塗料 | ○ | 1液ファイン ウレタンU100 |
| | ターペン可溶 2液形ポリウレタン樹脂塗料 | ○ | ファインウレタンU100／ ファインルーフU |
| | ターペン可溶 1液形シリコン樹脂塗料 | ○ | 1液ファインシリコンセラUV／ シリコンルーフⅡ |
| | ターペン可溶 1液形フッ素樹脂塗料 | ○ | 1液ファインフッソUV／ 1液ファインDFルーフ |
| | カチオン形 アクリル樹脂塗料 | ○ | ケンエースG-Ⅱ |
| | 合成樹脂調合ペイント | ○ | Hi-CR デラックスエコⅡ |
| 水系 | 1液水性反応硬化形ウレタン樹脂皮脂軟化対策塗料 | ○ | 水性ファイン ウレタンU100Ⅱ |
| | 1液水性反応硬化形セラミック変性シリコン樹脂塗料 | ○ | 水性シリコン セラUV |
| | 1液水性反応硬化形鉄部用 シリコン系皮脂軟化対策塗料 | ○ | 水性ファインSiⅡ |

※ 上記以外の上塗り適用性につきましては、当社営業所までお問い合わせください。

## 塗装仕様例

### ■塗り替え

| 塗装工程 | | 塗料名 | 塗り回数 | 使用量(kg/㎡/回) | 塗り重ね乾燥時間(23℃) | シンナー希釈(%) | | 塗装方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 下地調整 | | 膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜は、周辺を含めて入念に除去する。さびは電動工具、手工具を用いて劣化した旧塗膜を含めて除去し、鋼材を露出させる。油脂分などの付着物は完全に除去し、活膜部の表面を含め全面を面粗しし、清掃する。 | | | | | | |
| 下塗り※ | | 1液ハイポンファインデクロ | 1 | 0.13～0.15 | 4時間以上<br>7日以内 | 塗料用<br>シンナーA | 0～10 | はけ<br>ウールローラー |
| ウレタン仕上げの場合 | 上塗り① | 1液ファインウレタンU100 | 1 | 0.12～0.16 | 3時間以上 | 塗料用<br>シンナーA | 3～8 | はけ<br>ウールローラー |
| | 上塗り② | 1液ファインウレタンU100 | 1 | | | | 8～13 | |
| シリコン仕上げの場合 | 上塗り① | 1液ファインシリコンセラUV | 1 | 0.12～0.16 | 3時間以上 | 塗料用<br>シンナーA | 3～8 | はけ<br>ウールローラー |
| | 上塗り② | 1液ファインシリコンセラUV | 1 | | | | 8～13 | |

※ さびが発生しやすいエッジ部もしくはさびが発生している個所を塗装する場合、入念なケレン後、下塗り(1液ハイポンファインデクロ)で部分補修塗りをしてから全面下塗り塗装してください。
・上記の各数値はすべて標準の数値です。施工方法、施工条件により、各々多少の幅を生じることがあります。

### ■新　設

| 塗装工程 | | 塗料名 | 塗り回数 | 使用量(kg/㎡/回) | 塗り重ね乾燥時間(23℃) | シンナー希釈(%) | | 塗装方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 素地調整 | | 完全に付着したミルスケールは残すが、それ以外の不安定なミルスケール、さびは電動工具を用いて除去する。<br>また、ほこり、よごれ、油脂分なども入念に除去する。 | | | | | | |
| 下塗り※ | | 1液ハイポンファインデクロ | 1 | 0.13～0.15 | 4時間以上<br>7日以内 | 塗料用<br>シンナーA | 0～10 | はけ<br>ウールローラー |
| ウレタン仕上げの場合 | 上塗り① | 1液ファインウレタンU100 | 1 | 0.12～0.16 | 3時間以上 | 塗料用<br>シンナーA | 3～8 | はけ<br>ウールローラー |
| | 上塗り② | 1液ファインウレタンU100 | 1 | | | | 8～13 | |
| シリコン仕上げの場合 | 上塗り① | 1液ファインシリコンセラUV | 1 | 0.12～0.16 | 3時間以上 | 塗料用<br>シンナーA | 3～8 | はけ<br>ウールローラー |
| | 上塗り② | 1液ファインシリコンセラUV | 1 | | | | 8～13 | |

※ さびが発生しやすいエッジ部もしくはさびが発生している個所を塗装する場合、入念なケレン後、下塗り(1液ハイポンファインデクロ)で部分補修塗りをしてから全面下塗り塗装してください。
・上記の各数値はすべて標準の数値です。施工方法、施工条件により、各々多少の幅を生じることがあります。

### ■劣化溶融亜鉛めっき・電気亜鉛めっき仕様

| 塗装工程 | | 塗料名 | 塗り回数 | 使用量(kg/㎡/回) | 塗り重ね乾燥時間(23℃) | シンナー希釈(%) | | 塗装方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 下地調整 | | 素地の油や汚れ、付着物をシンナーなどで完全に除去する。<br>発生した白さびは、サンドペーパーやマジックロンなどで完全に除去する。 | | | | | | |
| 下塗り※ | | 1液ハイポンファインデクロ | 1 | 0.13～0.15 | 4時間以上<br>7日以内 | 塗料用<br>シンナーA | 0～10 | はけ<br>ウールローラー |
| ウレタン仕上げの場合 | 上塗り① | 1液ファインウレタンU100 | 1 | 0.12～0.16 | 3時間以上 | 塗料用<br>シンナーA | 3～8 | はけ<br>ウールローラー |
| | 上塗り② | 1液ファインウレタンU100 | 1 | | | | 8～13 | |
| シリコン仕上げの場合 | 上塗り① | 1液ファインシリコンセラUV | 1 | 0.12～0.16 | 3時間以上 | 塗料用<br>シンナーA | 3～8 | はけ<br>ウールローラー |
| | 上塗り② | 1液ファインシリコンセラUV | 1 | | | | 8～13 | |

※さびが発生しやすいエッジ部もしくはさびが発生している個所を塗装する場合、入念なケレン後、下塗り(1液ハイポンファインデクロ)で部分補修塗りをしてから全面下塗り塗装してください。
・上記の各数値はすべて標準の数値です。施工方法、施工条件により、各々多少の幅を生じることがあります。

### ■ステンレス・アルミニウム仕様

| 塗装工程 | | 塗料名 | 塗り回数 | 使用量(kg/㎡/回) | 塗り重ね乾燥時間(23℃) | シンナー希釈(%) | | 塗装方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 下地調整 | | 溶剤拭きにより脱脂後、ペーパー掛けにより表面を粗し、再度溶剤拭きなどで清浄な面とする。 | | | | | | |
| 下塗り※ | | 1液ハイポンファインデクロ | 1 | 0.13～0.15 | 4時間以上<br>7日以内 | 塗料用<br>シンナーA | 0～10 | はけ<br>ウールローラー |
| ウレタン仕上げの場合 | 上塗り① | 1液ファインウレタンU100 | 1 | 0.12～0.16 | 3時間以上 | 塗料用<br>シンナーA | 3～8 | はけ<br>ウールローラー |
| | 上塗り② | 1液ファインウレタンU100 | 1 | | | | 8～13 | |
| シリコン仕上げの場合 | 上塗り① | 1液ファインシリコンセラUV | 1 | 0.12～0.16 | 3時間以上 | 塗料用<br>シンナーA | 3～8 | はけ<br>ウールローラー |
| | 上塗り② | 1液ファインシリコンセラUV | 1 | | | | 8～13 | |

※さびが発生しやすいエッジ部もしくはさびが発生している個所を塗装する場合、入念なケレン後、下塗り(1液ハイポンファインデクロ)で部分補修塗りをしてから全面下塗り塗装してください。
・上記の各数値はすべて標準の数値です。施工方法、施工条件により、各々多少の幅を生じることがあります。

### ■鋼板屋根、トタン屋根塗り替え

| 塗装工程 | | 塗料名 | 塗り回数 | 使用量(kg/㎡/回) | 塗り重ね乾燥時間(23℃) | シンナー希釈(%) | | 塗装方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 下地調整 | | 膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜、さび、付着物などの周辺をワイヤブラシ、ケレン棒などで除去する。溶接部のさびは、電動工具で除去する。油脂分、水分は溶剤ふきを行い清浄な面とする。 | | | | | | |
| 下塗り※ | | 1液ハイポンファインデクロ | 1 | 0.13～0.15 | 4時間以上<br>7日以内 | 塗料用<br>シンナーA | 0～10 | はけ<br>ウールローラー |
| シリコン仕上げの場合 | 上塗り① | シリコンルーフⅡ | 1 | 0.12～0.14＊ | 2時間以上 | 塗料用<br>シンナーA | 5～15＊ | はけ・ウールローラー<br>エアレススプレー |
| | 上塗り② | シリコンルーフⅡ | 1 | | | | | |

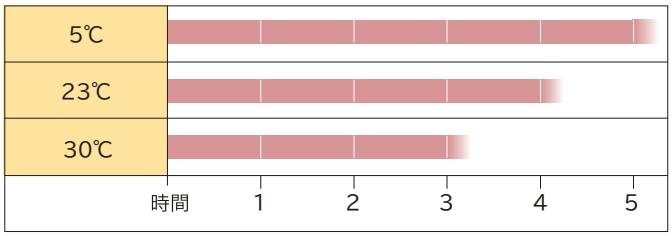
※ さびが発生しやすいエッジ部もしくはさびが発生している個所を塗装する場合、入念なケレン後、下塗り(1液ハイポンファインデクロ)で部分補修塗りをしてから全面下塗り塗装してください。
・上記の各数値はすべて標準の数値です。施工方法、施工条件により、各々多少の幅を生じることがあります。
＊シルバー色の使用量は0.07～0.10(kg/㎡/回)、シルバー色の希釈率は0～10%(シリコンルーフⅡ)となります。

# ニッペ 1液ハイポンファインデクロ®

## 荷　姿

| 色 | 容量 |
|---|---|
| 黒さび色、赤さび色、グレー、クリーム、ホワイト（白さび色） | 16kg 、4kg |

## 乾燥時間




※乾燥時間は標準の数値です。施工方法・施工条件により、多少の幅を生じることがあります。特に施工時の気温が低い場合には、影響を受けやすくなりますので、注意してください。

## 使用方法

| | |
|---|---|
| 塗装方法 | はけ、ウールローラー塗り |
| 希釈率 | 0～10% |
| 使用量 | 0.13～0.15kg/㎡/回 |

・使用量は標準の数値です。
・塗り付け量は0.10kg/㎡/回です。
・使用量：被塗装面単位面積あたりの塗装材料（希釈する前）の使用質量
・塗り付け量：被塗装面単位面積あたりの塗装材料（希釈する前）の付着質量

## 色　相

| 色　名 | 色相　※色は印刷インクのため近似色です。 |
|---|---|
| 黒さび色（19-20B 程度） | |
| 赤さび色（09-40L 程度） | |
| グレー（N-70 程度） | |
| クリーム（25-92B 程度） | |
| ホワイト（白さび色）（N-95 程度） | |

## 施工上の注意事項（詳細な内容については、各製品の製品使用説明書などにてご確認ください）

1. 上塗りに強溶剤系塗料を使用しないでください。
2. 1液ハイポンファインデクロの色相違いの塗り重ねは、避けてください。やむなく色相違いの塗り重ねをする際は1回目クリーム、2回目ホワイトを塗り重ねてください。1回目赤さび色、黒さび色、2回目クリーム、ホワイト、グレーの組み合わせでは絶対に塗り重ねないでください。1回目の色がブリードすることがあります。
3. 塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
4. 十分な塗膜性能を確保するため、規定の使用量をおまもりください。
5. ごみ・ほこり・砂・油・樹液などは、塗装前に水洗い、溶剤拭きなどで十分に除去し、乾燥した清浄な面にしてください。
6. さびは、ワイヤブラシ・サンドペーパーなどで入念に除去し、膨れ・割れの発生にも注意し、十分なケレンを行ってください。
7. 鉄、アルミニウム、溶融亜鉛めっき、電気亜鉛めっきなどを塗装する場合は入念な面荒しを行ってください。
8. 下地調整程度が悪い場合には、早期にさびを発生する可能性があります。
9. 本品は規定の塗り重ね乾燥時間よりも早く上塗りを塗装しますと、縮み、割れ、乾燥不良を起こしますので、塗り重ね乾燥時間をまもってください。また、吸い込みの大きい下地や素材の場合は、塗り重ね乾燥時間は長めにとってください。短時間で上塗りを塗装しますと、溶剤による膨れや縮みなどが発生するおそれがありますので避けてください。
10. 溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気をしてください。また、外部での塗装においても、換気口・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者へのご配慮をお願い致します。
11. 所定のシンナー以外を使用したり、薄めすぎるとつや引けやダレ、かぶり不良などをきたす原因になりますので、必ず所定のシンナーおよび希釈率をまもってください。
12. 塗料を扱う場合は、皮膚に付着しないようにご注意ください。また、蒸気やミストなども吸い込まないように十分にご注意ください。
13. 旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。
14. 内部塗り替えにおいて旧塗膜がSOP、FEなどの油性系の場合、研磨ずりを行ってください。下地処理が不十分な場合は、塗膜はく離の原因となります。
15. 改修工事にご使用の場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤などの影響により、旧塗膜を侵し溶剤膨れや縮みなどの異常が発生する場合がありますので、旧塗膜の種類をご確認のうえ、塗装仕様をご検討ください。
16. シーリングの上に、劣化、ひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直しをしてください。
17. 素地の乾燥は十分に行ってください。
18. 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
19. 塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
20. 塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。
21. 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
22. シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがありますので行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペプリードオフプライマーを下塗りすることで、可塑剤移行による汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。
23. 笠木、天端など長時間水が滞留する個所では塗膜の白化、膨れなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
24. 薄めすぎは隠ぺい力不足、仕上がり不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
25. 大面積の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
26. はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、使用量、表面肌が異なるため若干の色相差がでますので、はけ塗りの部分は希釈を少なくして塗装してください。
27. 汚れ、きずなどにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
28. はけなどの塗装用具の洗いは、ラッカーシンナーを使用してください。
29. ローラー、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、はじきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。
30. 可塑剤が多く含まれる塩ビクロス、塩ビゾル鋼板、塩ビラミネート、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革などへの直接塗装はお避けください。また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようご注意ください。
31. 表面に特殊セラミック処理・特殊ガラスコート処理、フッ素コート処理、はっ水処理、光触媒処理などの特殊な処理を施した素材には、塗料が付着しない場合や、塗膜に不具合を生じる場合がありますので塗装を避けてください。
32. 上塗りに強溶剤系塗料のご使用は避けてください。
33. 塗料は内容物が均一になるようにかくはんしてください。特につや調整品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かくはん機を用いて缶底の沈降物を十分にかくはんしてご使用ください。
34. 開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
35. 塗り重ね日数がオーバーした場合、ペーパー掛け、シンナー拭きなどで面粗ししてから塗り重ねてください。
36. 希釈直後、かくはんして少し重い(希釈が足りない)と感じる程度が適量です。
37. 希釈時、シンナーをいれるとシンナーが浮いた状態になりますが、これは特殊樹脂によるものであり、問題ありませんのでそのままかくはんしてください。
38. 乾燥は低温時において著しく低下し、乾燥過程で種々の塗膜欠陥を生ずることがありますので5℃以下の気温が連続する場合、施工しないでください。
39. 強溶剤系上塗り塗料（ハイポン50など）は、上に塗り重ねないでください。
40. 溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気を行ってください。また、外部での塗装においても、換気口・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者へのご配慮をお願い致します。
41. 作業前に容器に記載している「安全衛生上の注意事項」をご参照ください。
42. 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒ししにしないでください。
43. 内容物／容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
44. 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

■ 本カタログ掲載商品の詳細な危険有害性情報や使用上の注意事項等については、安全データシート（SDS）をご参照ください。
■ 本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は、事前に相談ください。


日本ペイント株式会社

北海道支店　☎011-370-3101
東北支店　☎022-232-6711
関東支店　☎03-5479-3614
北関東信越支店　☎03-5479-3614
中部支店　☎052-461-1960
近畿支店　☎06-6455-9608
中国支店　☎082-281-2180
四国支店　☎0877-56-2346
九州支店　☎092-751-9861



●本カタログの内容については予告なしに変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。
●本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
●©Copyright 2026 NIPPON PAINT Co.,LTD. All rights reserved.

●日本ペイントホームページ https://www.nipponpaint.co.jp/

最新情報・お役立ち情報発信中
日本ペイント公式LINE


カタログNo.
NP-E162
TY261006T
2026年10月現在